

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月24日

【評価実施概要】

事業所番号	4572000554		
法人名	特定非営利活動法人さざんか園		
事業所名	グループホームさざんか園		
所在地	宮崎県児湯郡川南町大字川南23167番地19 (電話) 0983-27-7380		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成20年11月18日	評価確定日	平成20年12月24日

【情報提供票より】 (平成20年10月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成15年1月20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤6人, 非常勤3人, 常勤換算7.5人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成20年10月15日現在)

利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	3	要介護2	3
要介護3	2	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 85歳	最低 80歳	最高 93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	尾鈴クリニック、木城クリニック、江藤歯科
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山間部に位置した広大な敷地に手作りの公園も設けられ自然に囲まれた環境にあるホームである。理事長の信念の下、掲げられた理念は職員にも周知され、利用者とのコミュニケーションを大切に、ゆったりとした時間が流れている。利用者の表情も良く、日中は、園庭で過ごされたり、屋外の活動も気兼ねなくできるなど自然との触れ合いもある。地域住民との関係も十分に取られており、四季折々の野菜の差し入れ等もある。また、ホームが主催する行事にも地域の方の協力が多大にあり、地域の行事にも積極的に参加されている。同業者との関係も取られ、職員の育成にも力を入れている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での主な改善課題はなく、利用者に対するコミュニケーション等日々のケアを毎日のミーティング、毎月の学習会を通し振り返りながらより良いケアを提供できるような取組みがなされている。
	②	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価を通し、管理者、職員が日々のケアを振り返るきっかけとなっていた。利用者の思い、意向の把握では初心に戻りもう一度振り返るきっかけとなり管理者、職員の関係作りから、利用者への対応をより良くする取組みがなされている。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議では事業所の活動報告、地域の行事、フリーマーケットの議題が常に挙がり、行政との話し合い、意見交換等の場ともなっている。地域住民を巻き込んだ事業所の行事には民生委員の協力もあり、地域との交流が図れている。それぞれの行事等に運営推進会議を生かした取組みがなされている。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族は毎月来園するシステムとなっており、職員は家族から意見、苦情を聞くよう心掛けている。家族との信頼関係も図れており、苦情等はこれまで出ていない。管理者、職員は初心に戻り、利用者との関係、家族との関係作りにも努められ、意見、苦情等が家族から出やすい取組みを行い運営に反映できるよう心掛けている。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常より地域住民との関わりがあり、四季折々の野菜などの差し入れがある。事業所の行事等への協力もあり、参加もされ連携が図れている。災害対策においても近隣の住民との連携も図られている。地域の行事にも事業所として積極的に参加されている。事業所として困っていることも近隣住民の協力を仰ぐことがあり日常的な連携が図れている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理事長の信念の下、「地域との交流」「言葉、笑顔、穏やかな気持ちでの介護」「守秘義務」の事業所としての理念が掲げられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、運営者、管理者、職員がそろう時間帯に、理念を読み上げ、理念は職員にも共有されており、実践に向け日々取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所として地域に向けての交流会も行われ、地域からの差し入れや協力等もある。地域活動にも積極的に参加され、民生委員との関係も取られ、地元の人々との交流は積極的に努められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者は評価の意義を理解し、毎月のミーティングにて職員にも伝達され評価を生かした具体的な改善に取り組まれている。	○	自己評価及び外部評価は運営者、管理者が一緒になって取り組むことで、最大の効果をもたらすことができる。更に、職員一人ひとりが評価の意義を理解し、事業所の具体的な改善、質の向上に取り組まれることを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	役場、民生委員、家族代表、職員とで構成され、2か月に1度事業所内で行われている。事業所の報告、地域の行事などの議題、外部評価の報告など活発に行われており、サービスの向上に生かされている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外でも、随時役場との連携は図れており、行政の勉強会にも参加されサービスの質の向上に取り組まれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月家族が来園されての入金システムなので、その都度、利用者の様子、状態等の報告がなされている。また、園便りによる報告もなされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情等はないが、意見箱も設置されている。職員は来園された時等、家族にうかがうように心掛け、また、家族が言いやすいような雰囲気作りにも努められている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動等は開園以来生じてはいない。新入職員等は、2か月間ボランティア等にて利用者になじんでいただくよう配慮されている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の学習会を開催したり、事業所外での研修会、勉強会等には参加しやすい環境となっている。研修後は学習会を通しての伝達講習会も行われ、復命書の作成もされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内の2つの同業者との交流が図られており、困っていること、悩み等の話しもなされている。訪問等も行われサービスの質の向上に取り組まれている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居にあたり、家族と共に見学に来られたりする。入居後においては見守りを行い、寄り添い、安心してホームの雰囲気になじめるよう工夫されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は言葉遣いに気をつけ、笑顔で寄り添うように接し、昔話などから学んだり、支えあう関係作りがなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者とのコミュニケーションより、本人の意向を把握し、買い物等に出かけたり、髪染めを行ったりと本人本位となるよう努められている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族が来訪された時など、家族の意向を聴き、毎日のミーティングや毎月の学習会で利用者一人ひとりのケアについて話し合いの場を持ち、利用者本位の介護計画となるように取り組まれている。	○	利用者の願いや思いがより反映された介護計画となるよう、充実したアセスメントに期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日のミーティングや特記事項のノートの活用、毎月の学習会において職員間で話し合いの場を持ち、変化が生じた場合には随時家族との話し合いを持って現状に即した介護計画の作成が行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の定期的な掛かりつけ医への通院介助や買い物等の外出支援がなされ、利用者の要望に応じた柔軟な支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	掛かりつけ医への定期的な受診がなされ、家族との話し合いももたれている。協力医の往診も行われており、適切な医療が受けられる支援がなされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族との話し合いも十分にもたれ、指針による同意書も作成されており、協力医との連携も図れている。職員間での方針の共有もなされている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーの確保のための言葉遣い等において常にミーティングや学習会で話し合われ、記録等においても保管されており、個人情報の取り扱いには十分注意されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者一人ひとりのペースを大切にし、利用者の希望に沿った支援がなされ、利用者もゆったりとした時間の中で過ごされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	事業所で作られた野菜や地域からの差し入れられた食材等にて季節を感じられる食事である。職員も同じ食事を楽しんでいる。また、利用者の能力に応じ、準備・後片づけを職員がさりげなく支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夏は2日に1度、冬は3日に1度というペースではあるが、入浴剤を入れ温泉気分を楽しんでいただいたり、冬にはオイルマッサージ等を行い、入浴を楽しむ支援がなされている。冬においてはコミュニケーションをより取るという事業所の思いが込められている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	地域の組合等から大豆の選別等を頼まれている。事業所内においても利用者にはそれぞれ野菜の選別やぞうきん縫い、食事の後片づけなど能力に応じた気晴らしの支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	園庭にある、あずまやには日常的に出られ、デッキでの食事も楽しまれている。買い物や天気の良い日にはドライブに出かけるなどの支援がなされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵は掛けておらず、各部屋にセンサーを取り付けられている。夜間帯もセンサーによってトイレ等への介助がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1度消防署との避難訓練を行っている。地域住民の協力も図られており、事業所独自の毛布を利用した担架が作成されており、夜間帯の連絡体制も取られている。	○	訓練の回数も含め、さらなる緊急時の対策をお願いしたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月に1度栄養士に年齢に応じたカロリー計算を出してもらい、利用者の状態に応じた栄養バランスのある食事を提供されている。水分の確保もされ、利用者の身体状況のチェックもなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では季節の花が生けられ、見晴らしの良い庭園を見ることができ、季節感を感じながらゆったりと居心地良く過ごせる工夫がなされている。ソファに座りコタツに入れる工夫、座り足を挙げる台を作られたり利用者居心地良く過ごせる工夫がさまざまなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の使い慣れたものが持ち込まれ、家族の写真が飾られたり、利用者が立ち上がりやすいような高さにベッドを合わせたりと、居心地良く過ごせる工夫がなされている。		

※  は、重点項目。